





ヲ限定セラレ頗ル遺憾ノ次第ニ被存候條郡守  
ノ欠負ヲ昇格ニ利用シ度所謂一官一職ノ御決  
定ニ関シ聊カ疑義有之候得共之カ使用方御  
認容ヲ得度右事情ヲ具シ此段及照會候  
也

刑 第四〇號 起 十三年十一月廿六日 定 共 年 月 日 行 施 年 月 日

内閣書記官長  内閣書記官   

〇年〇月〇日

内閣書記官

臺灣總督官房祕書課長宛

四卷

六級俸未滿ノ到任文官ニシテ今回ノ整理ニ

因リ退官セシムル場合ニ於テ昇級又ハ増給  
ニ付其ノ起算点照會、處右ハ現在受ケル  
級俸又ハ俸給ヲ支給セラレタル日ヲ以テ  
起算ト為スコトニ承知相成度

内閣内  
田二九

大正十三年十一月廿四日

臺灣總督府總務長官後藤文夫

内閣書記官長江木翼殿



六級俸未滿ノ判任文官ニミテ級俸ニ不拘適宜ノ俸  
給即中間俸ノ支給ヲ受ケル者整理ニ依リ退官  
スル場合ノ昇級ハ其ノ直下ノ級俸ヲ受ケ若ハ之ヲ  
超ヘタル時ヨリ起算スル方本人ニ對シ有利ナル場

合有之候ニ付當府ニ於テハ孰レニテモ有利ナル解  
 釋ニ從ヒ昇級取計度存候條至急何分御  
 回示相煩度候

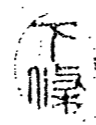
急

同 第三六號 十三廿五 年 月 日 行 施 年 月 日

内閣書記官長



内閣書記官



年月日 内閣書記官長

内務次官宛

回答

本目守日附行以整理ニ因ル退職  
 特別賜金ニ基礎見 勤績年数

二十五